

# 高齡者世帯におけるごみの排出状況調査結果

## 1 調査目的

本市では現在、今後10年間における廃棄物行政のあり方を示す「(仮称)北九州市循環型社会形成推進基本計画」を策定しているところである。

本市は、政令指定都市の中で最も高齡化率が高く、今後も増加が見込まれること及び高齡化に伴う生活様式の変化に伴い、ごみ発生量も減少することが想定される。

このため、高齡者世帯におけるごみの排出状況の調査を行い、計画の基礎データとなるごみ発生量の将来推計に活用する。

## 2 調査内容

### (1) 対象世帯

65歳以上の単身世帯又は夫婦世帯(各区10世帯程度)

北九州市衛生総連合会を通じ、対象となる世帯に依頼。

### (2) 調査期間

平成23年3月21日(月)～4月15日(金)の4週間

### (3) 調査方法

指定袋で収集するごみ4種(「家庭ごみ」「かん・びん」「ペットボトル」「プラスチック製容器包装」)について、重量及び指定袋の大きさを調査。計量はデジタルヘルスメーター(体重計)で行い、0.1kg単位まで測定。

「かん・びん」「ペットボトル」「プラスチック製容器包装」については、貯め置き分を集計から除くため、袋が一杯になっていなくても調査期間中に必ず2回以上排出。

### 3 調査結果

#### (1) 有効回答数

有効回答数： 76世帯（単身世帯 28世帯、夫婦世帯 48世帯）  
 合計人数： 124人  
 平均年齢： 72.8歳

有効回答数

	単身世帯	夫婦世帯	計
門司区	5	4	9
小倉北区	2	6	8
小倉南区	5	5	10
若松区	4	3	7
八幡東区	3	21	24
八幡西区	6	3	9
戸畑区	3	6	9
計	28	48	76

年齢構成

年齢	人数	割合
65～69歳	35人	28.2%
70～74歳	50人	40.3%
75～79歳	26人	21.0%
80～84歳	11人	8.9%
85歳以上	2人	1.6%
計	124人	

#### (2) ごみ排出量

##### 一人1日あたりごみ排出量の市内全世帯平均との比較

(単位:g/人・日)

種類	高齢者世帯 (今回調査)	市内全世帯平均 (平成21年度)
家庭ごみ	476	498
かん・びん	68	26
ペットボトル	13	6
プラスチック製容器包装	36	22
計	593	552

※ 「かん・びん」「ペットボトル」「プラスチック製容器包装」については、初回分の排出量を除外して集計した。

高齢者世帯における一人1日あたりの家庭ごみ排出量は、476g/人・日で、市内全体世帯平均(平成21年度:498g/人・日)と比較して大きな差は見られなかった。